

外構木材の紫外線等自然環境下における劣化試験報告【講演会 IN 東京】

—外構木材の耐候性とリフォーム・リニューアル—

日時：平成29年7月11日（火）13:00～14:15

場所：木材会館 東京都江東区新木場 1-18-8

地下鉄有楽町線・JR京葉線「新木場駅」下車 徒歩3分

主催：（公社）日本木材保存協会

主旨：（公社）日本木材保存協会は、平成28年度補正林野庁事業の地域材利用拡大緊急対策事業の中で、地域材を外構施設に積極的に利用し、地域材の需要拡大を図るため、外構木材のリフォーム・リニューアルについての技術開発を進めています。その成果を普及するため、講演会を開催します。

プログラム

1) 外構木材の劣化とその抑制

（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所 片岡厚氏

木材を外構材として用いると光・雨・カビなどにより劣化が起こることから、保護塗装による劣化を抑制します。これらについて、最近の研究・技術開発の動向を紹介します。更に、外構材のリフォーム・リニューアルの実例をもとに、技術的課題やコストについて解説します。

2) 外構木材の変色シミュレーション

東京医療保健大学 新井崇博氏

木材を「現し」で用いる場合、経年的に大きく変色することが経験的に知られています。経年的な変色を施工前に正確に予測し、予測に基づき維持管理対策を立てることで、外構木材の需要拡大に結び付けることが可能です。

参加費：無料

資料準備の都合上、参加される方は事前の申込を、日本木材保存協会ホームページの「外構木材の耐候性とリフォーム・リニューアル講演会のお申込み」からお願いいたします。

尚、本講演会は平成29年度木材劣化診断士登録更新講習会兼研修会のプログラムの中で開催します。

問い合わせ先

（公社）日本木材保存協会 東京都港区虎ノ門 4-2-5 事務局長 鈴木昭

電話：03-3436-4486 FAX：03-3432-1971 E-mail: jwpa-2@mokuzaihozon.org